

わがやの にんぎもの

このコーナーでは、市内在住の1歳～3歳までのお子さんの写真に、お父さん・お母さんのコメントをつけて紹介しています。誕生日など、思い出の1ページとしていかがですか？ご希望の方は、【市長公室・広報広聴係 ☎内線1212】までご連絡ください。



あいり 清水 愛衣里 ちゃん

将仁・陽子さんの長女 渋田

公園に行くと、すべり台をするのが大好きで、家に居てもお歌を歌ったり、走り回ったりと元気満天の愛ちゃんです。

最近では、色々な言葉も覚えて、話でも楽しませてくれます。

日々成長で、これからもみんなを楽しませてスクスク育ってね。



ももか りょう 小松崎 百香・亮羽 ちゃん

好弘・美穂さんの長女・長男 高道祖

しっかり者で、慎重なお姉ちゃん百香。いつも元気いっぱい面白兄弟の亮羽。もう2人ともあつという間に3才になりました。

いろいろなお話もできるようになり、いろいろな事もできるようになってきて、これからの2人の成長が楽しみです。

健康で元気に育ってね。



ひなた 長谷川 陽南 ちゃん

源二・直美さんの長男 黒駒

3月で2歳になった陽南。最近では、中学生の姉がやっている剣道の真似ごとが大好き、頭にメッシュのザルを被りおもちゃの剣をもってメーン…とやってる姿は小さな剣士。

少々甘えん坊なところがあるけど、みんなあなたの成長を楽しみにしてるよ！



口頭詩

子どもの純粋な心のつぶやき



くろかわ ねこ

4歳8か月 (下妻いずみ幼稚園)

あめ
ママ
やさしいあめが
ふつてゐるね

【解説】
窓の外にふと目を向けた時、霧雨のような細かい雨が降っているのを見つけた時に言った一言です。「雨」を「優し」と表現した娘の言葉に、とてもあたたか気持ちになりました。
採集 母 黒川 梓

きぬ保育園

元気に泳ぐこいのぼり

年長になって初めての作品づくり。うろこは花紙を丁寧にはりつけ、ひれは指を筆代わりに絵具で勢いよく染めました。元気な子どもたちがみんな力を合わせた作品です。



◀教室の壁一面に体長2メートルの大きなこいのぼりが泳ぎます



◀めろん組(全長)のみなさん

みんなの ギャラリー

From SHIMOTSUMA

私が巨樹・名木に興味を持つようになったのは、「新日本100選」という本に出会ったからです。機曾があれば、その本を片手に各地の名木を訪ねたものでした。ほとんどの巨樹は、地域の行事や祭りなどと密接な関わりを持ち、人々と心を通わせながら生き続けているようです。

幸い、私の町内の下妻神社には県でも屈指の櫨の大木があります。初夏の頃にフクロウの仲間のあおはすくがやって来て子育てをし、

下妻神社の大櫨

わたしからあなたへ さわやかに vol.88

前回登場の飛田貞雄さんからの紹介



かす お 遠藤 和男 さん(下妻乙)

夏祭りの節のころに南の方へ帰ります。その姿を、毎年子供をはじめ大人もみな楽しみにしております。また秋には、町内総出で、三世交代という形で大櫨を飾る縄作りをいたします。数年前には立ち枯れも心配されましたが、樹木医さん等の努力のおかげで再生されました。環境破壊の進む現代だからこそ、人間の古きよき友人、といわれる樹木をいたわり慈しむ心を忘れず、これからも町内の皆様と一緒に大櫨を大事に見守っていきたいと思います。

俳句

市民文芸

ならぬ事はならぬ教へや八重桜 加藤 保(加巻)
ほっこりと四月のような夫ありて 柴崎 久江(柳原)
靴の紐董日和の緩やかさ 市村きよし(下栗)

短歌

病棟の窓をひらけば花吹雪 外山富久子(下妻丁)
散り急ぐなど亡夫の言ひたし 増田 啓子(下妻乙)
切れ長の目もとすずしき京雛に 山本せい子(下妻丙)
魅入りてしばし佇みてをり 横倉 愛子(小島)
草萌ゆるうすきが色にけぶらひて 中久喜 和(下妻乙)
落の臺出で春たちにつけり 寺田 陽子(下妻乙)
早春の門辺に咲き満つる臘梅の 浅野 悦子(鎌倉)
黄たややくほのかに香る 飯泉 淑子(原)
冴えざえと電車の警笛ひびく夜 倉田 淑子(原)
あすは快晴と亡き祖母言いき 飯泉 淑子(原)
佳きひとのいのち極むを予知せるや 寺田 陽子(下妻乙)
さくら咲き添ふ時を早めて 浅野 悦子(鎌倉)
春風に花の匂ひも流れ行く 飯泉 淑子(原)
此のひと時は永久に帰らず 倉田 淑子(原)
雑音にふり廻されし祭り日の 飯泉 淑子(原)
夜は歌一つならず更けゆく 倉田 淑子(原)
車検代足りぬと声をひくくする 倉田 淑子(原)
子の背に花はほろほろと散る 倉田 淑子(原)

有料広告欄

有料広告欄

有料広告欄

有料広告欄